

ソフト日本し女子1部

ソフトボールの日本リーグ女子1部第2節第1日(岐阜新聞社 岐阜放送後援)は10日、大垣北公園野球場などで6試合を行い、大垣ミナモ

Cはトヨタ自動車(愛知)に1-0で勝利。地元開催の初戦を白星で飾った。

【関連記事12面に】
大垣ミナモは二回、田島萌

愛(日本耐酸塩工業)が二塁打でつづった好機に、6番内田小百合(大垣西濃信用金庫)が先制打。その1点を先発の金丸侑志帆(JAにしみの)と三回途中から登板したサラ・パウリーが守り切った。次戦は第2節最終日の11日

午後1時から、同球場で日立(神奈川)と対戦する。
大垣ミナモSC(1勝2敗) 〇100000001
トヨタ自動車(2勝1敗) 0000000000
(大)金丸、サラ、田立、長井(ト) 藤嶋、三輪、後藤、切石、二塁打 田島(大)

大垣ミナモ 地元初戦白星

勝利の瞬間

6番に座った新加入の内田小百合が、強豪チームを相手に前節の雪辱を果たす値千金の一打を放った。連敗の悪い流れを断ち切る一振りは、詰め掛けた地元ファンを前に、待望の初勝利をもたらした。前節での2試合はノーヒットだった。「ミートしていた打球もあった。悪い感覚はなく、今日こそはという気持ち」で、地元での開幕戦に臨んだ。二回の初打席は、さっそく好機で迎えた。「後ろにつなぐ意識で入った」打席では、内角攻めが続く相手投手の手の内を見抜いた。待ち構えていた内角直球を勢いよくたたき、打球を二、三塁間に突破、先制点を奪った。続く第2打席は「どつしても出塁したか

強豪トヨタに競り勝つ



新加入内田が先制打

った」と、変化球を織り交ぜる2番投手を相手に粘り、四球を選ぶ選球眼も見せた。会心の一打を一声援が力になった。みんなで取った1点

と振り返りつつ、「まだ前半戦は始まったばかり。強い相手との対戦が続くが、思い切りの良さを生かして戦いたい」と前を向いた。(柴田洋希)

大垣ミナモSC×トヨタ自動車=2回表大垣ミナモSC無死二、三塁、先制点となる適時打を放つ内田=北公園